

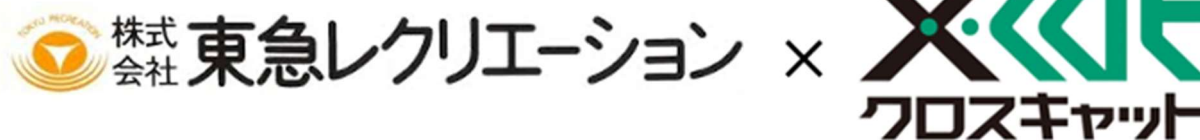
報道関係者各位

株式会社東急レクリエーションが進める 映画館の上映スケジュール作成業務効率化プロジェクトに DX 推進支援ソリューション「CC-Dash AI」PoC 導入決定

～AI 活用により、煩雑な作成業務の効率化、高速化を実現～

DX 推進支援フレームワーク「CC-Dash」(<https://xcc-dash.jp/>)を提供する株式会社クロスキャット（本社：東京都港区、代表取締役社長：山根光則、以下クロスキャット）は、株式会社東急レクリエーション（本社：東京都渋谷区、社長：木村知郎、以下東急レクリエーション）が進める AI 活用映画スケジュールリングプロジェクトに協力し、AI を活用した DX 推進支援ソリューション「CC-Dash AI」PoC サービスを導入することをお知らせします。

これにより、映画館の上映スケジュール作成における煩雑な業務を大幅に効率化し、スピード化を目指します。クロスキャットは、AI 実装に向けた PoC を行ってまいります。



■導入背景について

東急レクリエーションの映像事業では、全国各地に「109 シネマズチェーン」として 21 サイトを展開しているシネマコンプレックスを運営しています。東急レクリエーションは、これまでの各映画館の上映スケジュール作成に関して、編成課の担当者が手動で作業し、多大な労力を割いて作成しており、タイムテーブル作成フローの見直しを検討していました。

■採用のポイント

東急レクリエーションでは、複数社から AI ソリューションの提案を受け、上映スケジュール作成を担う編成課を中心に比較検討する中、PoC（概念実証）などの柔軟な支援体制、「CC-Dash AI」による効率化を実現する課題解決力などから、クロスキャットの提案を選定しました。

■「CC-Dash AI」サービスについて(<https://xcc-dash.jp/cc-dash-ai/>)

お客様のビジネス課題を解決するために、ヒアリングから PoC までの一連のプロセスをサポートします。AI の利活用に向けて、2つのプランを用意しています。



□「CC-Dash AI」コンサルティングサービス

お客様の AI 活用における疑問点や課題についてヒアリングし、データの収集、整理方法、AI 利活用に向けた環境構築についてアドバイスします。主に課題の整理を目標に、最大 5 日間のコンサルティングサービスを提供します。この他、調査報告書、PoC 提案書を提出いたします。

(500,000 円/5 日間・40 時間)

□「CC-Dash AI」PoC サービス

お客様よりご提供いただいたデータの分析を行い、AI モデルの開発とテストを実施。結果をレポートするとともに、最適なソリューションを提案します。この他、検証結果報告、提案書を提出いたします。(2,000,000 円/月)

【PoC 具体例】

- ・車載カメラ画像における物体検出技術を活用したドライバーの運転を支援するシステム
- ・自然言語処理の技術を用いた、顧客からのフィードバックを自動分類するシステム
- ・画像認識技術を用いた、製品の欠陥検出を行うシステム
- ・音声生成技術を用いた AI アシスタントなど

■株式会社東急レクリエーション 会社概要

代表者： 代表取締役社長 木村 知郎

所在地： 東京都渋谷区桜丘町 24-4

創立： 1946 年 6 月

事業内容： 映像事業をはじめ、ボウリング場・フィットネスクラブ・スポーツコート施設・ホテル等を運営するライフ・デザイン事業、そして不動産のマスターリースを中心とした不動産事業など

URL： <https://www.tokyu-rec.co.jp/>

■株式会社クロスキャット 会社概要

代表者： 代表取締役社長 山根光則

所在地： 東京都港区港南 1-2-70 品川シーズンテラス 20 階

設立： 1973 年 6 月

事業内容： システム開発、BI ビジネス、自社プロダクト開発・提供

上場市場： 東京証券取引所 プライム市場

URL： <https://www.xcat.co.jp/>

※文中に記載された会社名、商品・製品名、サービス名は各社の登録商標または商標です。

本件に関するお問い合わせ先

株式会社クロスキャット 営業統括部 : 秋山

営業直通電話 : 03-3474-5201 (平日 9:00~17:30) E-mail : sales@xcat.co.jp

本件に関する報道関係者からのお問い合わせ先

株式会社クロスキャット 経営企画室 広報担当 : 森田

代表電話 : 03-3474-5251 (平日 9:00~17:30) E-mail : pr@xcat.co.jp
